

社会福祉法人豊恵会

令和4（2022）年度事業報告書

1. 全体（法人運営）

当期は、法人運営における役員・評議員等の改選も無く、また、緊急の付議事項も無く、定期の会議のみで推移しました。

評議員会、理事会を下表のとおり開催し運営にあたりました。

表一 評議員会・理事会開催の経過

会議名	開催年月日	主な審議・議決事項
決算理事会	令和4年6月4日	1. 令和3(2021)年度事業報告並びに決算書承認の件
決算評議員会	令和4年6月18日	1. 令和3年度決算書類及び財産目録承認の件
予算理事会	令和5年3月18日	1. 令和5年度事業計画ならびに予算の件

コロナ禍もあり、理事会の招集はひかえました。

なお、期を通じて2回の職務執行状況報告（9月6日付、1月31日付）を行いました。

※理事会・評議員会議事録は、本部にて、常時ご覧いただけます。

2. 福祉事業

前年度に引き続き、障害者就労継続支援A型事業を行いました。懸案事項でありました定員削減がなり、定員を20名としスタートしました。

利用契約者は、期首22名(長欠者1名含む)、期末20名で、年度内に3名が退社、1名入社しました。長期欠勤者1名及び体調不良者2名が退職しました。

サービス提供日数は、各月とも〔月日数－8〕日を予定しました。1月に降雪による臨時休業を余儀なくされました。

- ① 障害者の受け入れ-個別支援計画の作成、利用者負担額等の請求・受領、介護給付費請求・受領及び利用者の相談・苦情処理等の必要な福祉関連業務を実施しました。
- ② 職員・利用者相互間の融和を図るためのレクレーション行事は、コロナ禍の折から、屋外が主体となる「芋掘り会」のみ行いました。
- ③ 職員の各種研修会への参加

コロナ禍の折から、研修事業はリモート開催となり、多くの職員が事業所にて研修会に出席させました。

3. 就労支援事業

◎菌糸商品の製造

前期に続き、昆虫飼育関連の菌糸商品の動きが良く、受注が活発で積極的に仕込みました。最も売れ筋の「培養産卵木」の原材料の仕入れが困難となり売上減の主因となった。元々絶対数が不足の原料入手難に加え、仕入れ業者が脳梗塞でリタイア・リハビリ入院となり一挙に困窮した。しかしながら、原材料を持ち込んだ(送付された)ものについては、菌を培養加工し、加工量を頂いた。

当期の菌糸商品の仕込み状況は次表のとおりであった。

表一工場仕込・培養袋数

月	仕込袋数	菌床生産			受託生産品		
		全体	キクラゲ	霊芝	全体	ブロック	培養産卵木
4	18	9,678	6,385	2,456	2,928	917	1,852
5	15	7,868	5,843	1,162	3,212	572	1,874
6	18	8,264	6,536	0	4,741	2,112	2,181
7	18	9,082	3,929	0	3,195	1,189	1,583
8	16	7,155	4,275	0	3,457	421	2,115
9	17	7,709	6,817	0	2,717	498	1,753
10	15	6,977	6,384	0	2,980	912	1,650
11	17	8,206	8,086	0	2,839	1,035	938
12	17	9,158	5,278	0	1,876	755	663
1	15	6,923	5,366	0	2,921	1,286	1,155
2	16	8,357	6,355	1,021	1,893	900	537
3	19	10,173	1,651	7,094	3,135	546	1,631
当期	201	99,550	66,905	11,733	35,899	11,143	17,932
前期	203	101,594	53,159	18,649	37,664	11,085	19,299

ブナオガ粉は、岐阜県・飛騨地域に活路を見出し不安払拭となったが、培養産卵木については、多量の受注残を抱えた状況で推移しています。仕込は、これまでと同様に、原則週4日を堅持し、月~金体制を執りました。

※①栽培用菌床は、全体では前期と大差なく、ヨコバイであった。

※②受注生産品の「菌糸ブロック」はヨコバイ、「培養産卵木」原材料の調達ができず、入手難から仕込み量は、前期比、約7%減となった。持込材(加工受託)も相当数あったものの、実質的な売上減となった。

※③霊芝およびアラゲキクラゲは、今期の売上高には反映されず、期末の仕掛品となった。

◎きのこ栽培

自家栽培は、前期同様に採算ベースに乗りにくい種類は栽培数量を減らした。種類はアラゲキクラゲ、次いでシイタケで、南ヒラタケやナメコは敬遠対象とした。しかしながら、冬場の北ヒラタケは低温期確実に発生するため、栽培量を増やした。生産量は次頁に示した。

キクラゲは、前期同様、宗像(志水企画)送りを予定したが、先方の生産体制が変わり、後半は止まったため、生鮮キノコの売り上げ減につながった。

シイタケは、学校給食向けの商品の確保のため、ある程度の量を作らざるをえず、「岬」「HB3」を施設能力いっぱい栽培した。学校給食はほとんどが乾燥品で、価格設定が低く利益につながらないが、カット加工品(スライス)は好評で、どの直売所でも競争力のある商品となっている。

表-2022（令和4）年度きのこ生産量-生重量(kg)

月	キクラゲ	シイタケ	ヒラタケ類	ナメコ	その他
4	39	760	70	10	3
5	18,834	276	46	0	8
6	2,782	0	1	0	63
7	1,701	0	1	0	71
8	1,313	0	0	0	52
9	1,510	0	0	0	0
10	575	1,008	393	6	53
11	321	1,353	478	409	1
12	262	98	133	284	0
1	0	188	94	408	0
2	0	91	2	195	0
3	0	318	19	112	0
計	27,337	4,092	1,237	1,424	251

※キクラゲ、シイタケともに京築地域の学校給食への納入を続けており、年間、シイタケが116kg、キクラゲが100kgであった。

このほか、埼玉県の学校給食へキクラゲ・スライスを137kg販売した。

※その他は、タモギタケ、トキイロヒラタケおよびマイタケで約250kg生産した。

乾燥品として出荷する霊芝は、野添ハウスⅠおよびⅡの半分、約5,600菌床で栽培した。生産の主体を岬ファームへ移行させたため生産量は減少し、単位収量のアップをめざしたものの、6月下旬が異常高温になった事、また、菌柄部を商品としなかった事により収量はあがらず、不成績で終わった。

4. 収支

2020(令和 2)年度「東上きのご苑」事業収支は、ほぼ下表のとおりとなりました。

区分	科目	当初予算額	決算額	摘要
福祉収入	自立支援給付金	35,000	35,491	ほぼ予算通り
	利用者負担金	800	842	〃
	補助金収入	1,500	2,236	収入増
	福祉収入計	37,300	38,569	3%増
福祉支出	人件費	28,000	26,558	5%減
	事業費	1,850	1,599	微減
	事務費	6,370	6,667	微増
	福祉支出計	36,220	34,824	3.8%減
福祉会計収支		1,080	3,745	増
就労収入	菌床売上	18,000	13,279	キクラゲ&霊芝が次期売上にズレる
	きのご売上	13,000	12,076	生キクラゲの減が響いた
	受託製造売上	20,000	16,194	原料入手難による売り上げ減
	昆虫事業売上	3,000	2,726	目標到達せず
	その他	200	-	畑作物の売上を見込んだが・・・
	就労収入計	54,200	44,275	18%減
就労支出	労務費	22,900	22,088	微減
	材料費	15,500	16,264	微増・・・ブナの在庫を抱える
	外注加工費	400	458	ヨコバイ
	製造経費	7,200	7,866	微増
	就労支出計	46,000	46,668	微増
就労会計収支		8,200	-2,393	受託製造品の売上減が響いた
合計収支		9,280	1,352	

※本表は、月毎の試算表から集計した数字を表わしたもので、期末の棚卸資産を加えておりません。

期末棚卸資産を合算すると合計収支は改善

※詳細は、決算書類をご覧ください。

福祉会計：

定員削減が認められ、ポイントが上がったため、自立支援給付金が上がり、前々期の安定財源(月約 300 万円)まで回復した。

就労支援会計：

昆虫関連菌糸商品の原料入手難の影響で売り上げが大幅減となった。原料オガ粉のブナは、入手先を北海道から岐阜・高山にシフトし、十分に賄えた。一方、培養産卵木は、原料材の自然減に加え、入手先の主体が脳梗塞に倒れ不測の事態となった。